



中部横断自動車道(長坂JCT～八千穂) 計画段階評価の試行

平成22年12月2日

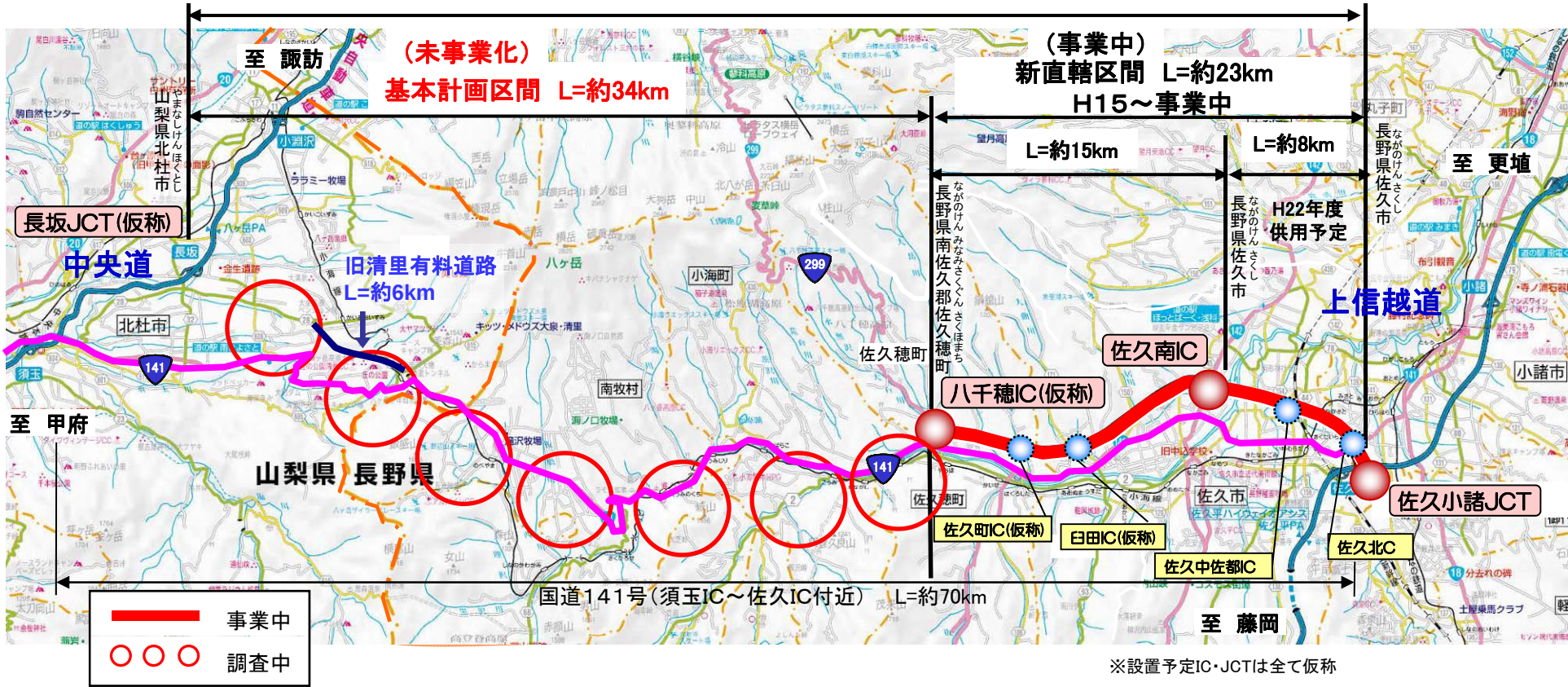
国土交通省 関東地方整備局

計画段階評価試行箇所（広域計画図）



計画段階評価試行箇所（拡大地域図）

中部横断自動車道(中央道～上信越道) L=約57km

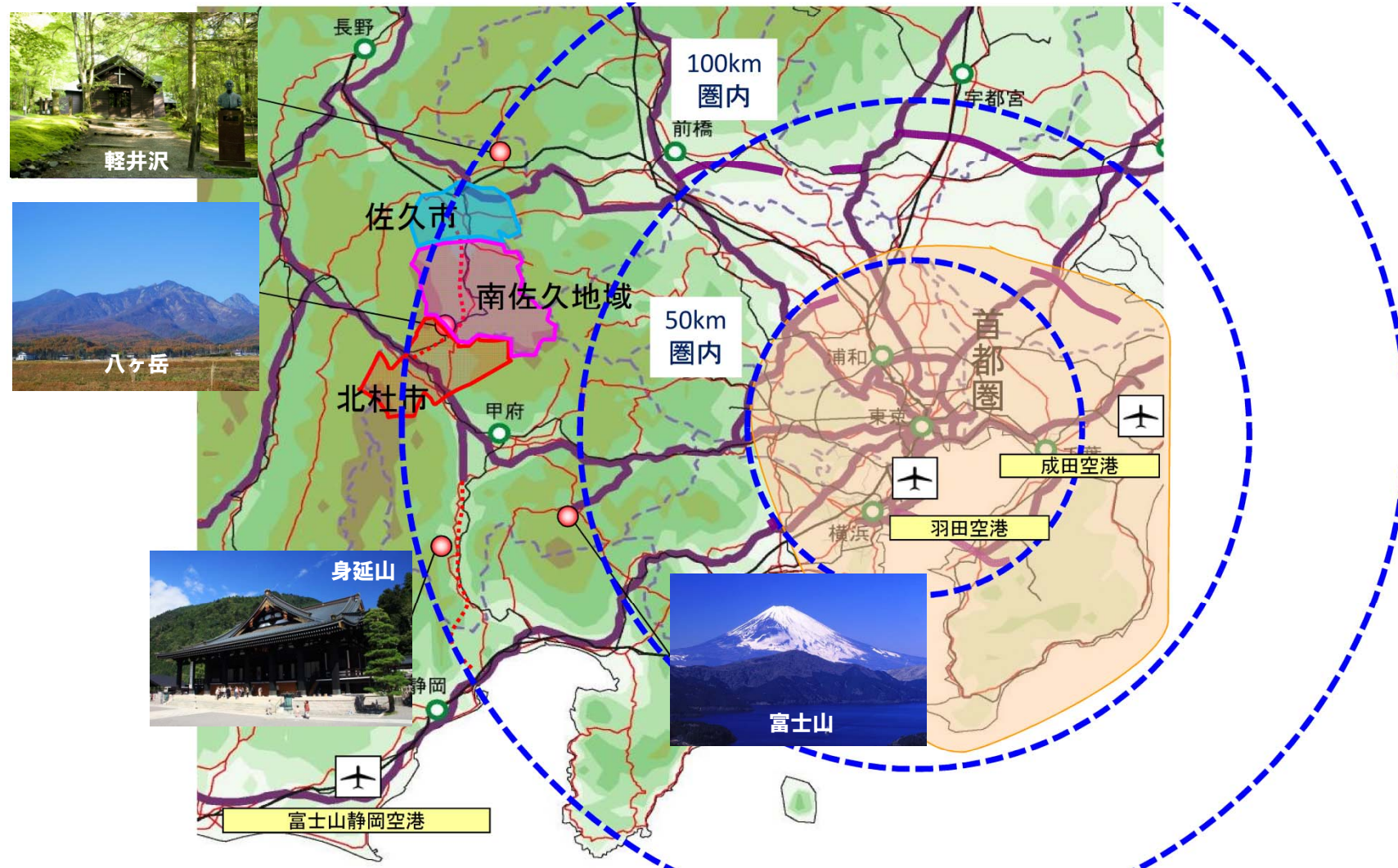


本日、御審議頂きたい事項

- 地域の課題
- 対象路線整備の目標
- 地域の意見聴取の方法

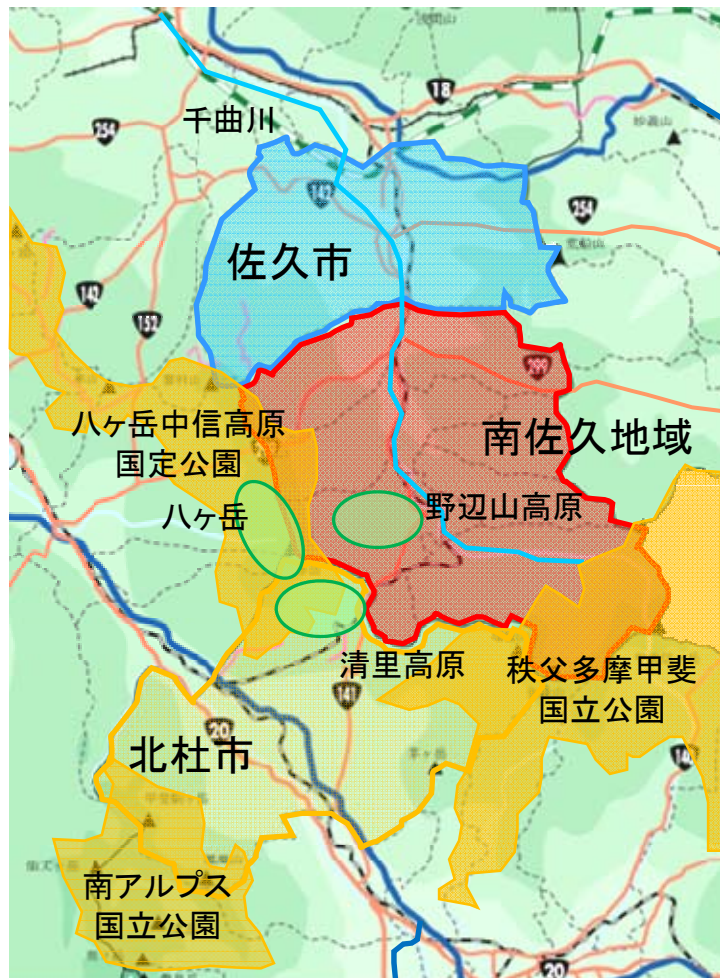
1. 地域の概要 ①位置

- ・首都圏から概ね100～150kmに位置。
- ・人口、経済、産業の巨大集積地である関東地方に隣接。
- ・巨大市場を背景として、観光、農業等が主な産業。



1. 地域の概要 ②自然環境

- ・八ヶ岳と関東山地に挟まれた**高原地帯**。
- ・南から北に千曲川が流れる。
- ・野辺山高原の特性を活かした野菜栽培が盛ん。
- ・清里を中心とした地域は、日本有数の避暑地。



八ヶ岳



野辺山高原



千曲川(小海町小海大橋付近)



清里高原

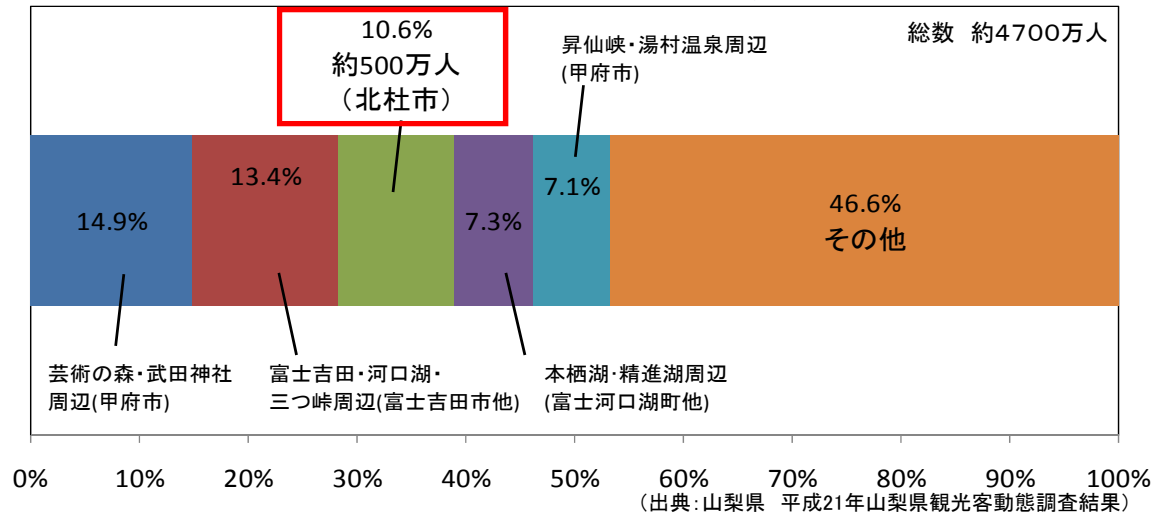
※南佐久地域: 佐久穂町、小海町、北相木村、南相木村、南牧村、川上村

国定公園

1. 地域の概要 ③観光

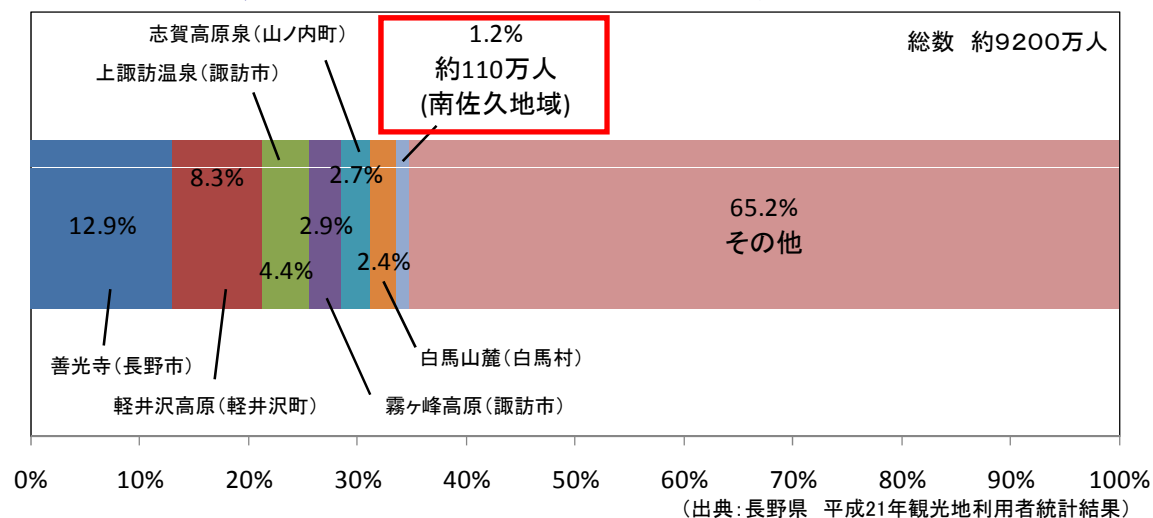
- ・豊かな自然景観に恵まれ、北杜市(山梨県)では年間約500万人の観光入り込み客数。
- ・南佐久地域には、高原、山岳等の観光資源が豊富にあるが、観光入り込み客数は少ない。

山梨県内の観光入り込み客数の割合



八ヶ岳中信高原国定公園

長野県内の観光入り込み客数の割合

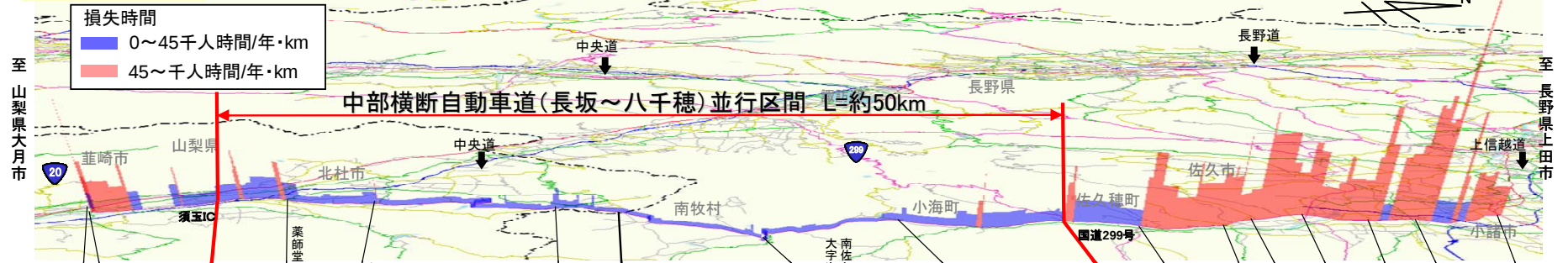


南佐久地域、北杜市の主要な観光地

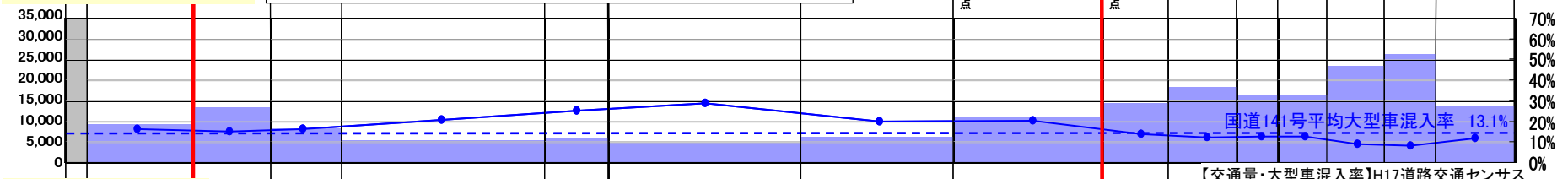
1. 地域の概要 ④国道141号の交通状況

- ・国道141号における交通量は約5,000～26,000台/12h、平均旅行速度は約39km/h、大型車混入率は約13%、平均損失時間は約45千人時間/年・km。

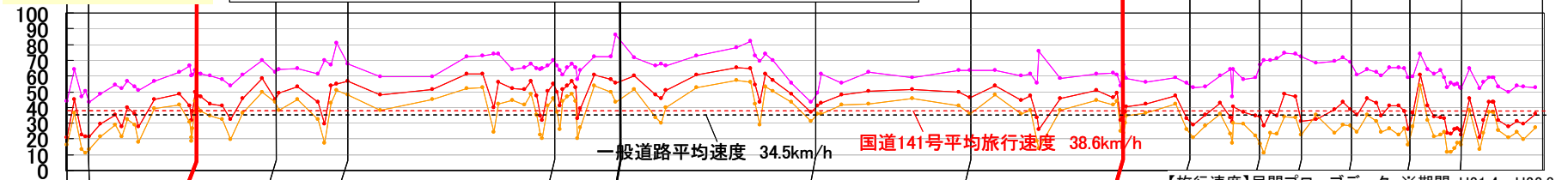
損失時間(全日)



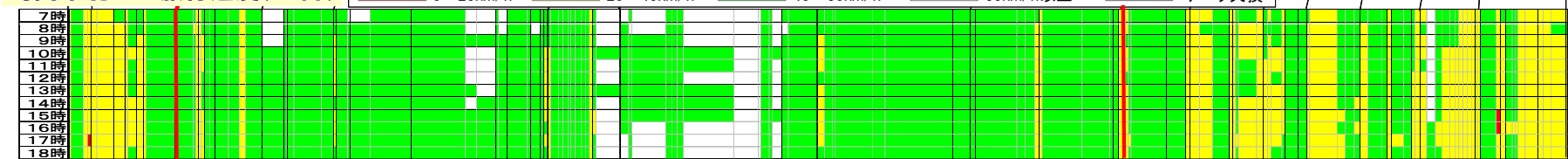
交通量と大型車混入率



速度の変化(全日)

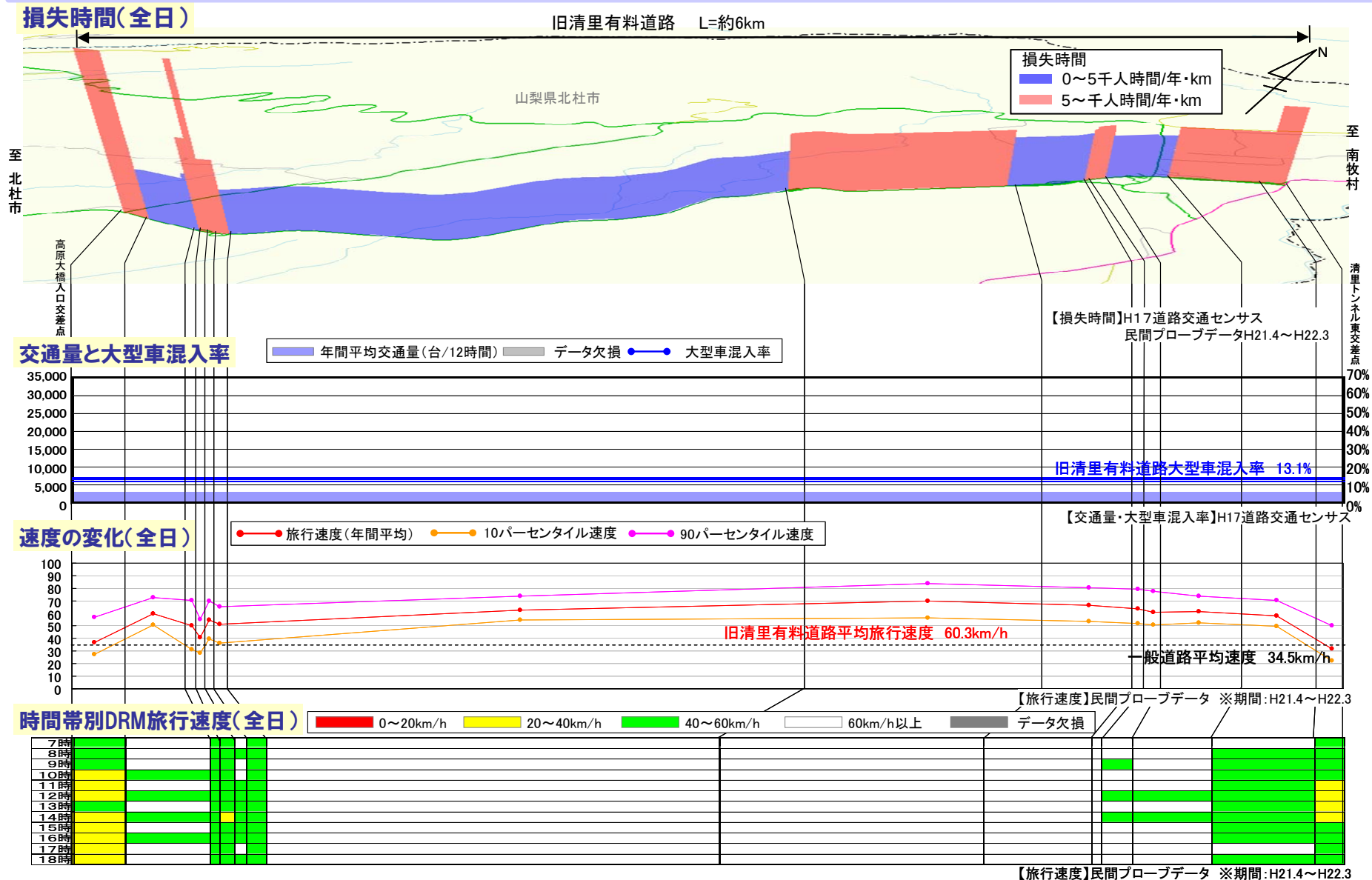


時間帯別DRM旅行速度(全日)



1. 地域の概要 ⑤旧清里有料道路の交通状況

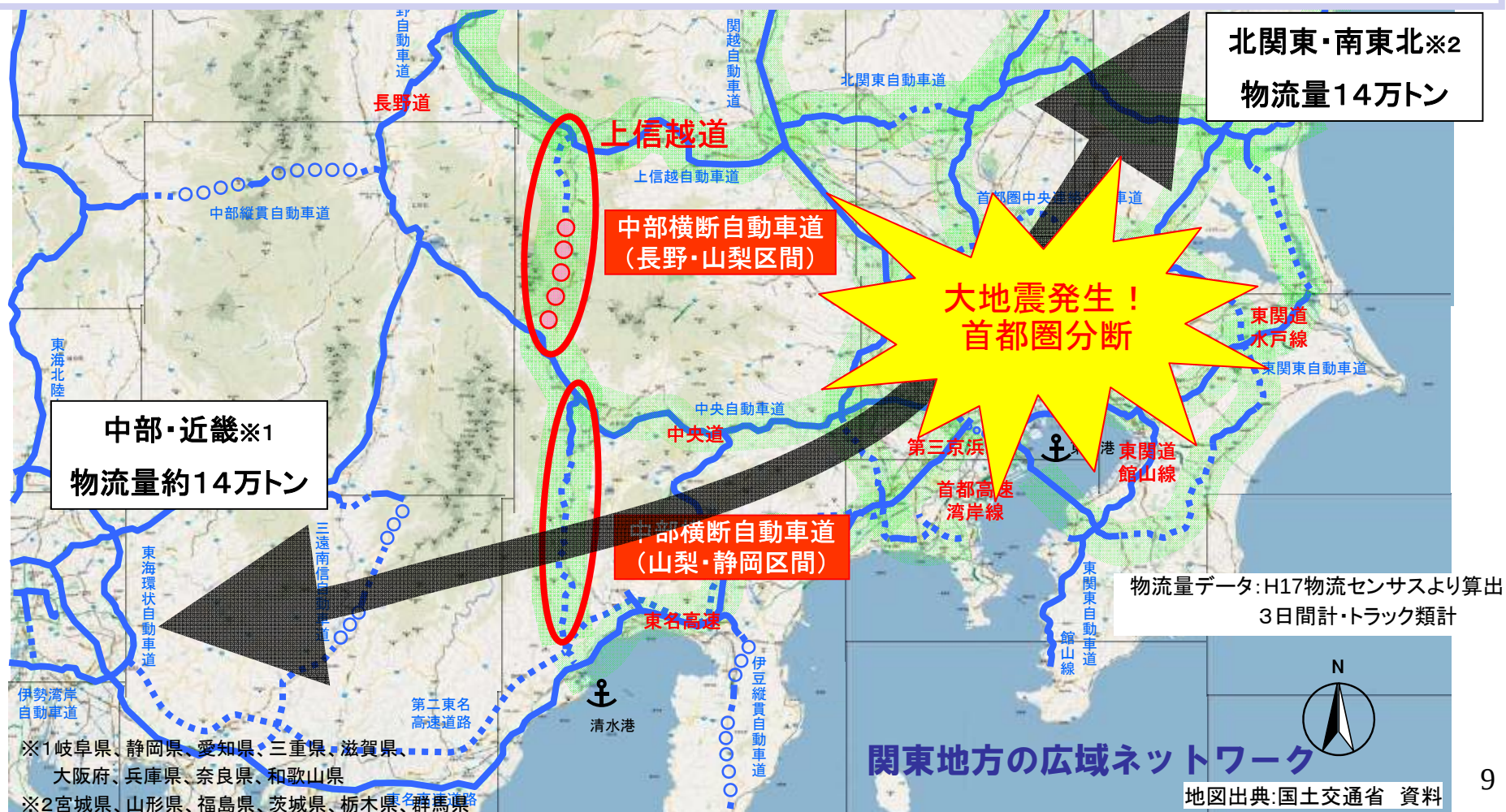
・旧清里有料道路における交通量は平日で約2,700台/12h、平均旅行速度は約60km/h、大型車混入率は約13%、平均損失時間は約5千人時間/年・km。



2. 課題① 広域的な課題 災害時の代替路線の不足

課題

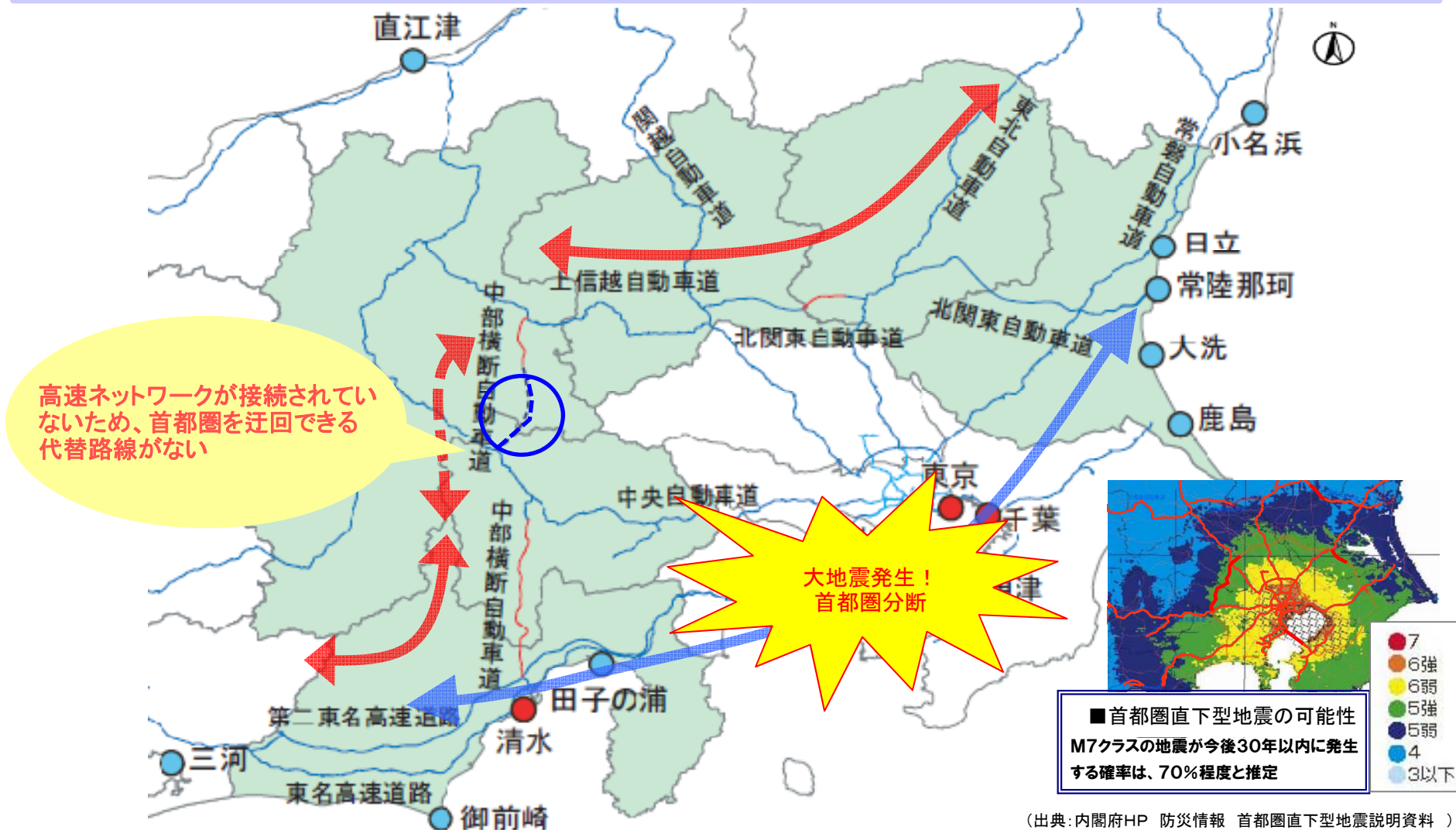
- ・我が国の国内貨物輸送の約90%をトラック輸送が担っている。
- ・都心を介しての物流量は約28万トンと推定され、全物流量750万トンの約4%と大きい。
- ・東京湾北部地震など首都圏直下型地震が発生した場合、広域物流が停止し、日本経済に大きな影響。



2. 課題① 広域的な課題 災害時の代替路線の不足

原因

- ・都心を迂回する幹線物流ルートがない。



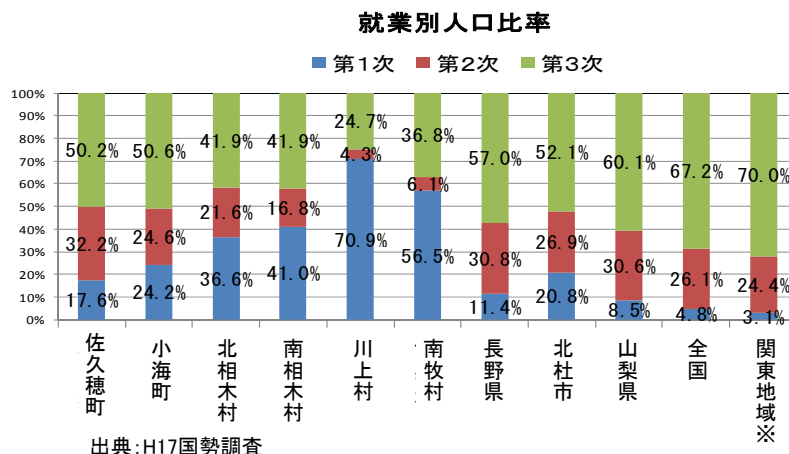
(出典:内閣府HP 防災情報 首都圏直下型地震説明資料)

首都圏外郭における環状ネットワークが不完全

2. 課題② 地域的な課題 新鮮な農産物の提供エリアが限定

課題

- ・南牧村や川上村は第一次産業の就業人口率が50%以上と高い。
- ・この地域のレタスの出荷量は約8万1千トン。
- ・**野菜の鮮度保持のために、予冷処理は必須。**
しかし、配送先が遠方の場合、輸送時間の制約から十分な予冷処理ができない。



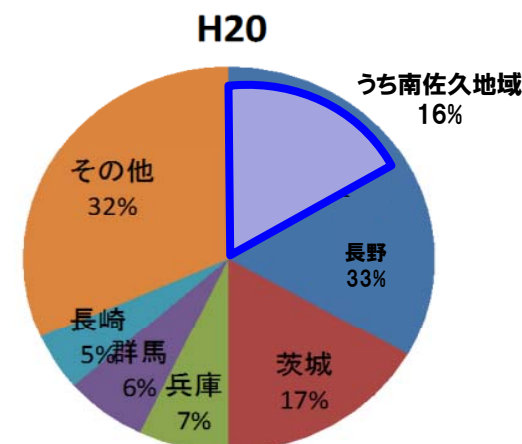
収穫から小売りまでの流れ



出典: 農林水産省 農協の新事業像の構築に関する研究会

※予冷処理（真空予冷）
30分～1時間で冷却可能。ただし、一度に大量処理は困難。
一度予冷を行えば、鮮度が3～4日確保可能。

高原野菜の出荷量(レタス)



出典: 野菜生産出荷統計

単位:t

	H18	H19	H20
南佐久郡	87,319	79,078	81,601
長野県	173,800	166,000	169,800
茨城県	77,700	78,400	85,800
兵庫県	35,100	37,200	36,100
全 国	510,600	509,700	510,700
長野県シェア／全国	34.0%	32.6%	33.2%
南佐久郡シェア／全国	17.1%	15.5%	16.0%

南佐久地域のレタスの出荷量

※: 関東地域は、茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県・長野県。

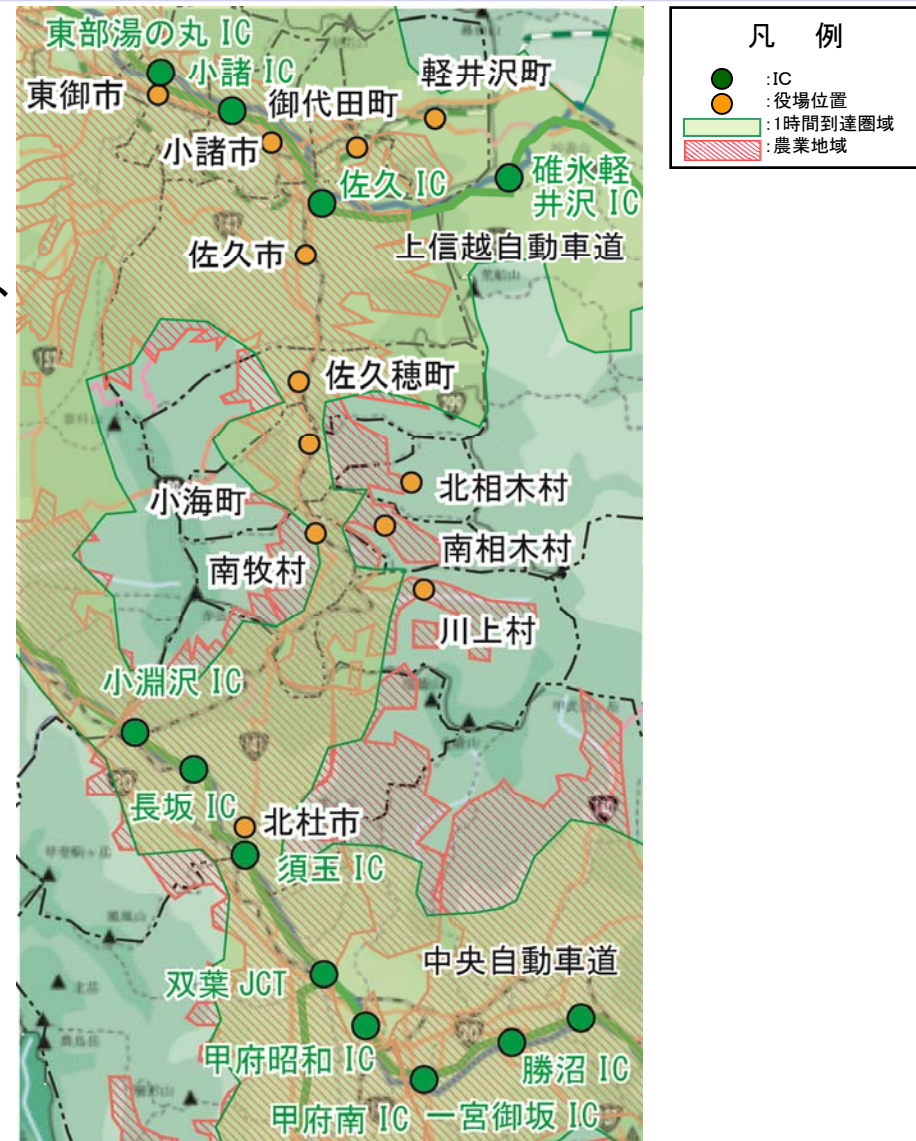
2. 課題② 地域的な課題 新鮮な農産物の提供エリアが限定

原因

・南佐久地域は高速道路ICまでのアクセスに1時間以上要している。

【高速道路ICまでの1時間圏】

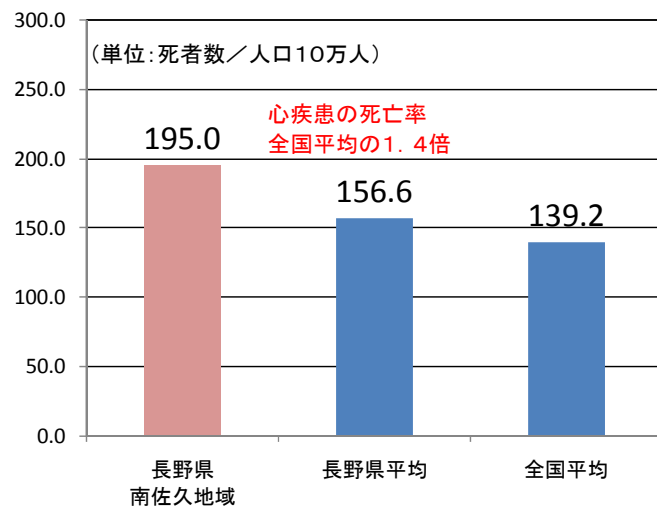
国道141号から外れる北相木村、南相木村、川上村、南牧村の一部は、1時間以内に高速道路にアクセスできない地域である。



2. 課題③ 地域的な課題 医療機関へのアクセス不足

課題

- ・南佐久地域、北杜市には、第3次医療施設※¹がなく、救急搬送に時間を要する。
- ・高齢化が進む南佐久地域は、心疾患による死亡者が多く、全国平均の約1.4倍。



出典: 長野県衛生年報

心疾患の死亡率
(人口10万人あたりの死者数: H19)

※1 第3次医療施設:

心筋梗塞、脳卒中、頭部外傷など一刻を争う
重篤な救急患者の医療を担当する施設



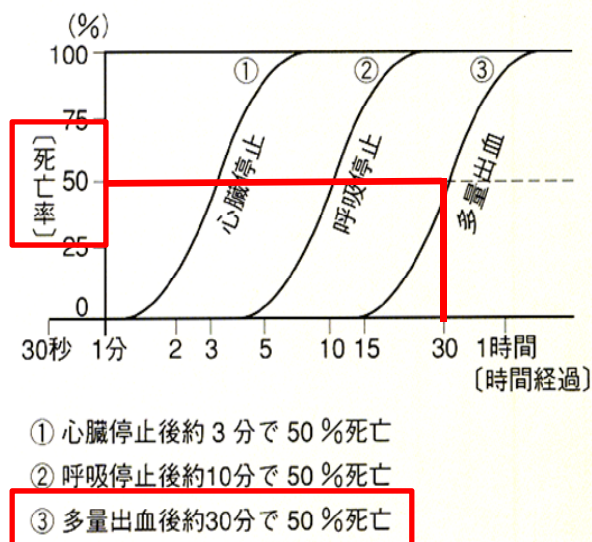
第3次医療施設 位置図

病 病院(第3次医療施設)

2. 課題③ 地域的な課題 医療機関へのアクセス不足

原因

- ・短時間で搬送できる交通基盤としては国道141号しかない。

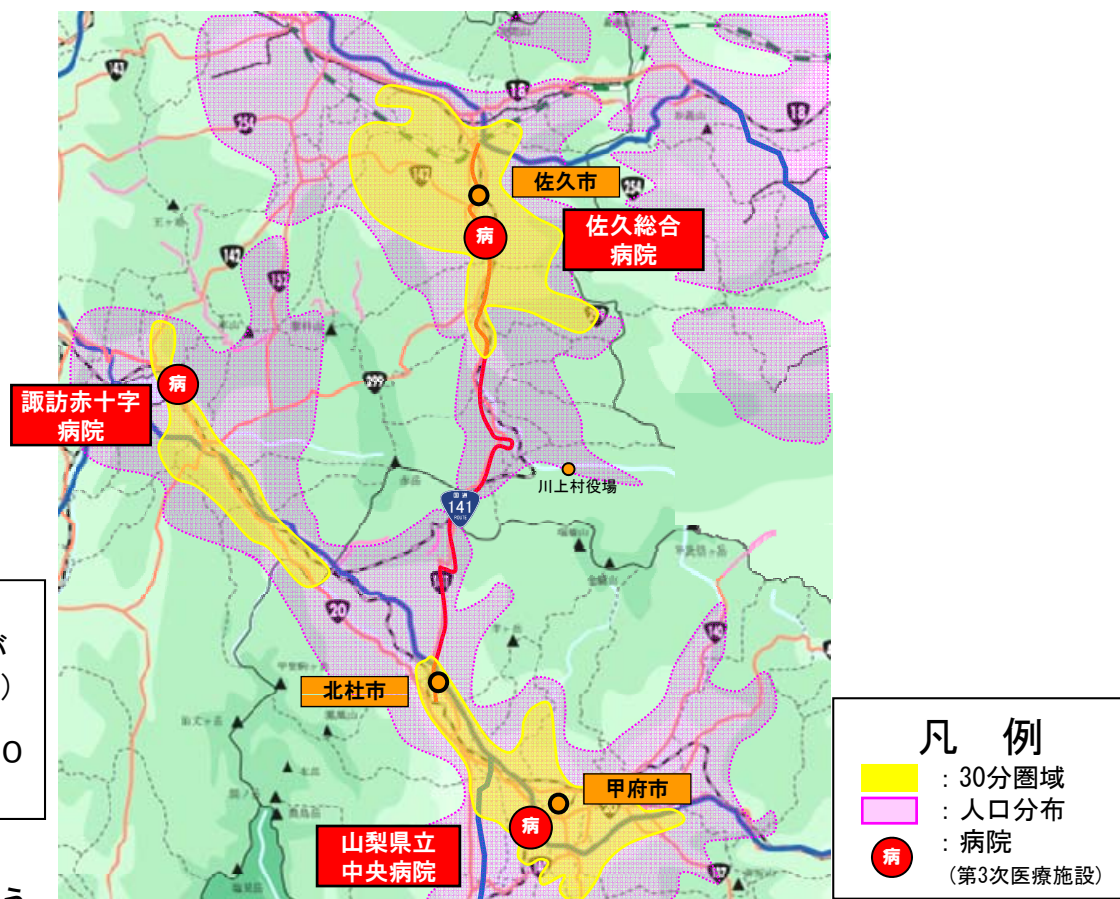


(参考)

- ・第3次医療施設に30分で到達出来ない地域が存在する。(多量出血による死亡率50%に相当)
- ・たとえば川上村から佐久総合病院までは、約60分を要する。(救急搬送しても間に合わない)

※1 第3次医療施設:

心筋梗塞、脳卒中、頭部外傷など一刻を争う
重篤救急患者の医療を担当する施設



※30分圏域とは第3次医療施設から車で30分で到達可能な圏域
出典: 30分圏域は、mapinfo(距離計算)による計算値に基づき作図

第3次医療施設からの30分圏域

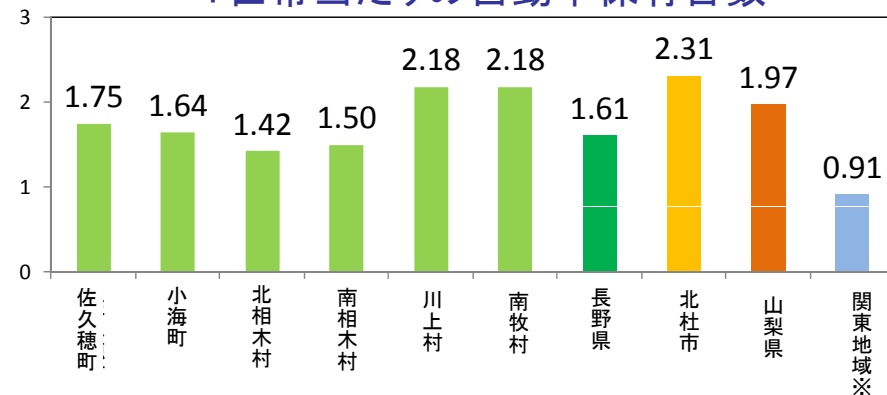
2. 課題④ 地域的な課題 隣接地域への移動が困難



課題

- ・川上村、南牧村は長野県で最も自動車保有率が高く、北杜市も県平均に比べ保有率が高い。
- ・国道141号とJR小海線が南北を走る唯一の交通基盤
- ・国道141号は標高差が大きく急勾配のため、走行性が悪い。また、一部に雨量規制区間があり、通行の信頼性に欠ける。
- ・JR小海線の運行本数は11往復/日しかない。

1世帯当たりの自動車保有台数



出典：長野県(H21長野運輸支局統計を、H22.10.1長野県毎月人口の世帯数で除して算出)。山梨県(北杜市、山梨県は、H19山梨県地域公共交通総合連携計画策定調査資料より)。関東地域は、財団法人自動車検査登録情報協会より(H22.3月末)。

※：関東地域は、茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県・長野県。

2. 課題④地域的な課題 隣接地域への移動が困難

原因

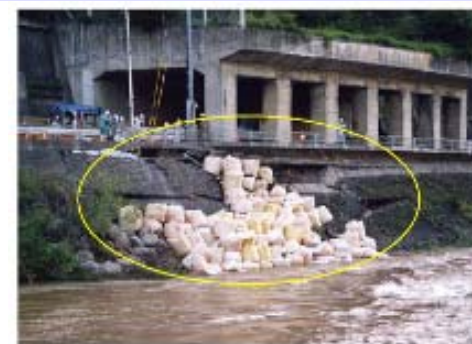
- ・国道141号には、雨量通行規制区間(1箇所)、幅員狭小区間(10箇所)、線形不良箇所(14箇所)、急勾配箇所(9箇所)等が多数存在し、過去には通行止めとなる盛土擁壁崩壊なども発生しており、安全性の高い交通機能が不足。



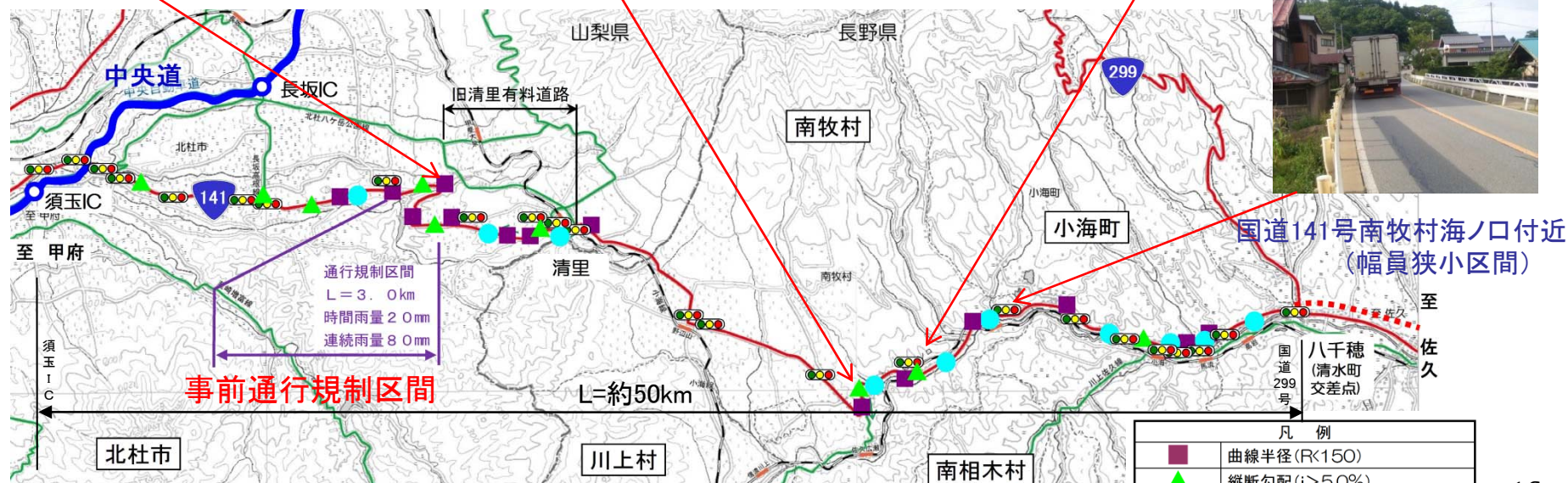
国道141号北杜市高根町付近
(急カーブ 急勾配)



国道141号南牧村市場坂付近
(急カーブ 急勾配)



国道141号災害状況 南牧村海ノ口(H14.7)



国道141号の道路状況

3. 想定される対策案の方向性

全線を高規格幹線道路として整備する案の他、

- ・現道のうち利用可能な区間はないか？
- ・現道を局所的に改良すれば課題は解消する
のではないか？

などの観点で複数案を立案・比較

4. 旧清里有料道路の道路状況

- ・清里有料道路は、観光シーズンに生じる国道141号の交通渋滞の緩和などを目的に平成10年6月に開通。
- ・当初、有料道路として開通していたが、平成17年6月より無料化されている。
- ・一部区間に登坂車線が設置されているが、走行性は高い。



ハケ岳大橋上



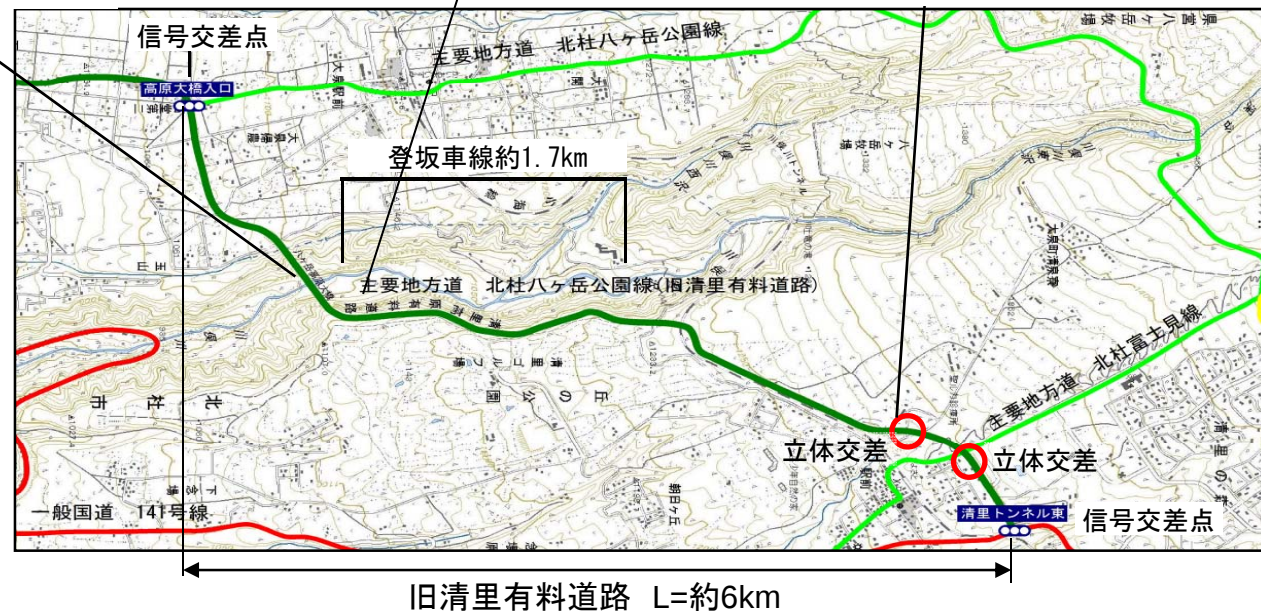
ハケ岳大橋付近



清里立体交差付近

道路構造規格

- ・道路規格: 第3種第2級
- ・設計速度: $V=50\text{km/h}$
- ・車線数 : 2車線
- ・幅員 : 11.5m(車道: 3.25m)
- ・交差点数: 信号交差点 2箇所
(起終点部)
立体交差点 2箇所



5. 地域の意見聴取の方法

1. 情報提供の内容と頂きたい意見

情報提供の内容	頂きたい意見
・現況や問題点、解決すべき課題	課題に対する住民の意識
・政策目標	政策目標に対する意見
・代替案	代替案の妥当性・評価

2. 対象エリア

沿線市町村 8市町村(合計人口:約18万人、合計世帯数:約6万7千世帯)

〔長野県 佐久市、佐久穂町、川上村、南相木村、北相木村、小海町、南牧村
山梨県 北杜市〕

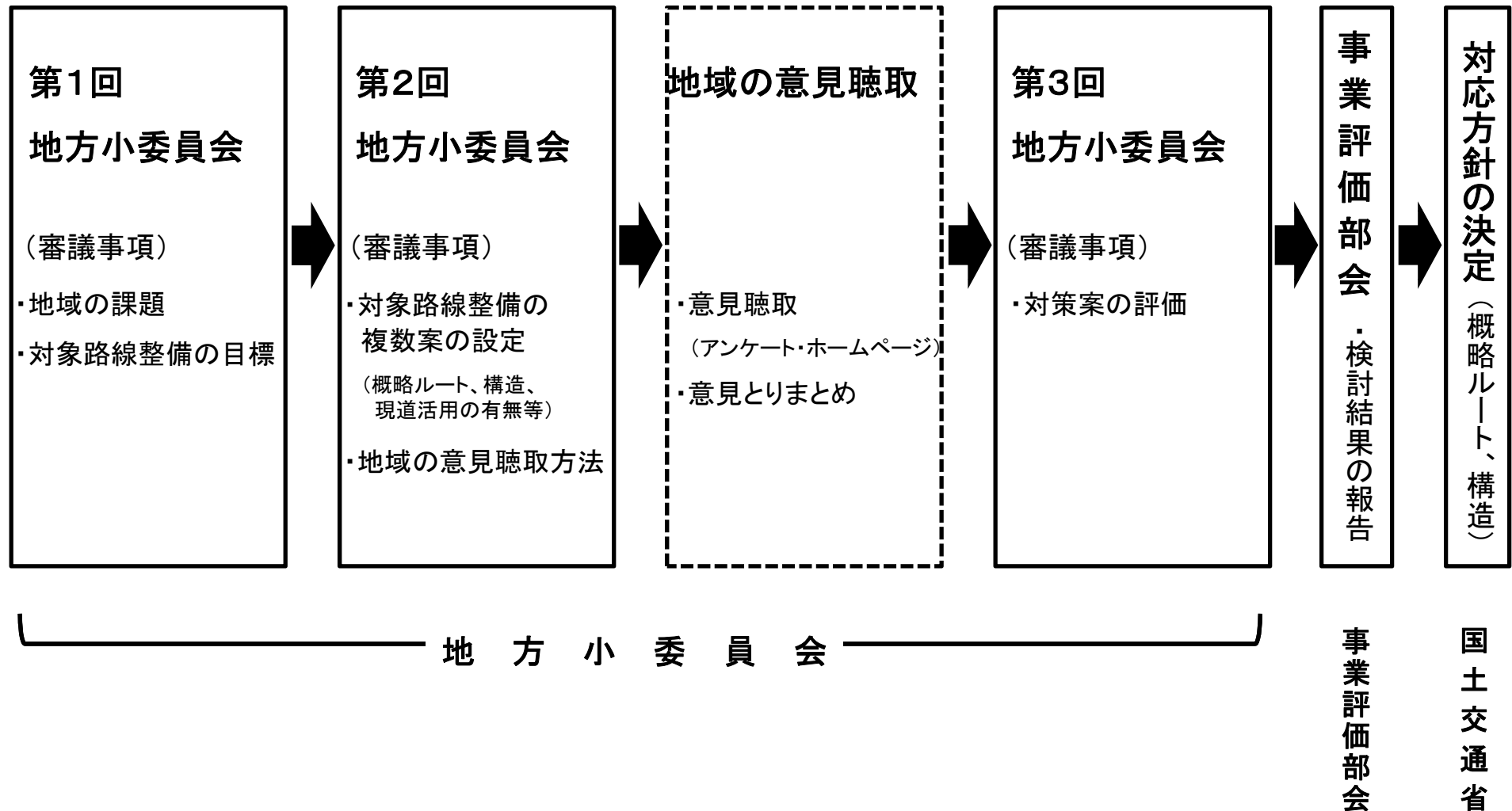
3. 情報提供の方法

- ・国道事務所、関係機関等のHP
- ・広報誌を配布

4. 意見聴取の方法

アンケート(Web方式、郵送方式)

6. 今後の進め方(案)



※各段階で随時自治体と調整